

●大野城市芸術文化振興プラン実施スケジュール（案）

【資料1】

方向性・テーマ	基本施策	実行プラン	重点的に実施する取組	R1（9月～）	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
中間年度見直し・次期計画策定							アンケート作成	アンケート配布・回収 内容検討 最終調整			次期プランの方針の検討	次期プラン検討 市民アンケート実施	次期プラン策定
(1) 情報・知ろう (情報・知ろう)	(1) 芸術文化活動の情報発信体制の充実	①芸術文化活動情報発信の基盤整備	・芸術文化情報サイトの構築及び周知	サイトイメージに関する情報収集		サイトの基本機能整理	仕様書作成（機能詳細整理） 管理・運用の検討	サイト構築 周知・勧奨	対象に合わせた周知 サイトを組めた事業の実施				
		②芸術文化に関する情報内容の充実	・情報をより多くの市民に伝えるためのプッシュ型情報発信方法の検討及び実施	—	広報紙配策場所調査方法の検討	まどかびあ協議	情報の森整備協力	情報発信方法の確認、検討 プランに関する市ホームページの作成、公開	プッシュ型情報発信方法（インスタグラム）の開設・情報発信（平均約9回/月）				
	(2) 芸術文化がもたらす魅力を伝える活動の推進	①芸術文化の魅力を感じる機会を創出	・芸術文化の多様な魅力を伝える機会の創出	—	—	【SNSや動画投稿サイトの活用】 実施及び検証	【SNSや動画投稿サイトの活用】 まどかフェスティバルでのオンライン配信実施	サイトとSNS・動画投稿サイトの連携の検討	インスタグラムを用いた効果的な情報発信の検討・実施				
		②芸術文化レポーター制度の構築	・芸術文化レポーター制度の構築	—	—	【市民と芸術家との交流機会の創出】 ヒアリング・情報収集準備（一部情報収集）	【市民と芸術家との交流機会の創出】 ヒアリング対象・方法等の検討、実施 支援の検討	市民レポーター制度の検討（アートマネジメント研究）	＜レポーター制度＞ 共同研究及び制度の構築 制度の在り方、座組の検討				
(2) 楽しみよう (楽しみよう)	(1) 芸術文化に興味を持ち、誰もが体験・鑑賞できる環境づくり	①誰もが体験・鑑賞できる環境づくり	・芸術文化活動の入口を作るための環境整備及び考え方の普及	芸術文化に対するアクセシビリティの調査研究の協議	芸術文化に対するアクセシビリティの調査研究の協議及び実施	芸術文化に対するアクセシビリティの調査研究の協議 ハンドブック作成、活用方法検討	ハンドブック周知	ハンドブック周知（芸術文化体験イベントの実施）	事業を通じたプラン周知の実施				
		②誰もが体験・鑑賞できる環境づくり	・市や大野城まどかびあによる地域（各コミュニティセンターや公民館、学校等）での芸術文化イベントの実施及び支援	—	—	まどかびあにおいて 劇場体験プログラム等実施 情報収集、情報公開	ヒアリング対象・方法等の検討、実施 支援の検討	身近な場所での芸術文化体験イベントの実施	コミでのWS実施 WSでの取組周知				
(3) 育ちよう (育ちよう)	(1) 芸術文化の創造・継承活動への多面的な支援	①若い世代の芸術文化活動の担い手の育成	・多様なジャンルを体験できる機会の提供	—	—	ヒアリング・情報収集準備（一部情報収集）	ヒアリング対象・方法等の検討、実施 支援の検討	多様なジャンルの体験ができるイベントの検討	多様なジャンルに触れる機会の創出 （文化連盟事業にて実施） 学校・ランドセルクラブへのアプローチ				
		②芸術文化活動の企画・運営者（団体含む）への支援	・芸術文化情報サイトでの各団体のPR及び支援 情報の一元化	文化連盟等の文化団体への支援		【文化連盟への支援】 文化連盟団体紹介ページの作成 【支援方法の検討】 ヒアリング・情報収集準備（一部情報収集）	【支援方法の検討】 ヒアリング対象・方法等の検討、実施 支援の検討	支援方法の検討	サイトや登録方法の周知 文化連盟への呼びかけ				
		・ファシリテーター養成講座の実施							＜ファシリテーター研修＞ 共同研究及び制度の構築 制度の在り方、座組の検討				
	(2) 芸術文化を活かす担い手と受け手をつなぐ機能の充実	①芸術文化活動を支える人材の育成	・芸術文化が社会とつながるための仕組みづくり（アートマネジメント研究等）	—	—	—	人材育成対象の明確化・研修の検討	ファシリテーター研修・レポーター研修（アートマネジメント研究）	アートマネジメント研究 （ファシリテーター研修・レポーター研修）				
		②芸術文化活動の担い手と受け手をつなぐ機能の充実	・（仮称）よろず相談所のあり方の整理及び仕組みづくり	—	—	—	芸術文化情報発信サイトの整備 ※サイト内の情報、機能で相談機能を補う。	サイトでの相談機能のあり方の検討	ツナグを通じた芸術文化情報の周知				
(4) 連携・つながろう (連携・つながろう)	(1) 団体や芸術分野を超えた交流の促進	①芸術分野がつながる活動の推進	・芸術文化情報サイトを軸とした活動団体や芸術分野を超えた交流会の実施	—	—	—	サイトを軸とした交流会の検討	サイトを軸とした交流会の検討	サイトを軸とした交流会の検討				
		②芸術文化活動を通して全ての人が地域と関わる機会の充実	・芸術文化活動を通じた社会参加の機会を生み出すための取組の実施	—	—	ヒアリング・情報収集準備（一部情報収集）	他分野のイベントでの芸術体験ワークショップの実施	他分野で芸術文化を取り入れた取り組みの情報収集 各分野での芸術文化事業支援	取組の可視化、周知				
	(2) 芸術文化を通じた「社会参加」「交流」の機会を広げる環境づくり	②芸術文化の他分野への活用	・「部門間連携会議のプラン進捗に沿ったより良いあり方の整理及び実施」 ・福祉、教育、商工業等、他分野で芸術文化を活用してもらうための取組の実施	連携会議の設置・実施		【連携会議の実施】 【各分野におけるワークショップの開催】 アクセシビリティの調査研究における先進事例の調査及び本市での実施方法の検討	【連携会議の実施】 【各分野におけるワークショップの開催】 未実施	連携会議の実施	連携会議の在り方の検討				
(5) 資源を活かそう (資源を活かそう)	(1) 芸術文化に関わる多様な資源を活かす仕組みづくり	①芸術文化活動を行う個人・団体のネットワークの構築	・芸術文化情報サイトを核とした個人・団体のネットワークを活かす仕組みづくり	—	—	ヒアリング・情報収集準備（一部情報収集）	未実施	個人・団体の情報収集	個人・団体の情報収集				
		②地域の特性を活かしたイベントの実施支援	・「大野城心のふるさと館」を活用したイベントの実施支援	—	—	ふるさと館つなげる事業の活用方法の検討 ヒアリング・情報収集準備（一部情報収集）	未実施	ふるさと館を活用した事業の実施	ふるさと館を活用した事業の実施				
		③芸術文化の活動場所の把握	・芸術文化活動ができる新たな施設、空きスペースの調査と情報の可視化	—	—	—	未実施	活動場所の情報収集	活動場所の情報収集とサイトへの掲載				

- 予定通り実施
- 別の方法で実施・実施予定
- 一部未実施
- 未実施